

平成 18 年度事業報告書

I 事業の概況

当会は、本年度で学会創設 20 周年を迎えた。一昨年末の「人工知能学事典」の発行を皮切りに、初期会長による「人工知能学会の過去、現在、未来」に関する座談会、データから見る人工知能学会の 20 年のあゆみの編集、「今後 10 年の人工知能」に関するワークショップ等を実施し、これらの成果を学会誌 5 月号に 20 周年記念企画としてまとめた。また、記念事業企画案の公募に入選した「ゲーム型キャリアデザイン学習教材の開発」を全国大会で公開した。更に、フェロー制度を導入し、11 名のフェローを認定した。このように、20 周年の節目となる諸事業を次々に実施し、永遠の青年学会であるためのさらなる活性化施策を検討した。

第 20 回全国大会は 6 月 7 日から 3 日間にわたり東京都江戸川区の総合区民ホールで開催した。一般発表に 288 件の応募があり、参加者は 519 名に達した。

国際交流活動の一環として、全国大会に併設して 3 つの国際ワークショップを開催した。42 件の発表があり、参加者は 80 名で、このうち海外から 5 カ国 14 名の参加があった。論文は後日 Springer 社より Lecture Notes in Artificial Intelligence シリーズで発行した。また、本年度も 5 月にロボカップ 2006 北九州大会を共催し、JSAI 賞を贈呈した。

研究会は、新たに 3 つの第 2 種研究会「社会における AI 研究会」、「データマイニングと統計数理研究会」、「幼児のコモンセンス知識研究会」が活動を開始したので、第 1 種研究会が 4、第 2 種研究会が 7 となり、それぞれの研究会開催の他に、他学会との合同研究会や全国大会でのオーガナイズドセッションを開催するなど活発な活動を行った。

セミナーは人工知能学事典の紹介セミナーを含めて 3 回開催した。また、AI 若手の集い(MYCOM)は本年度で 7 回目をむかえ、6 月に箱根で開催した。

隔月発行の学会誌は、編集委員会の長期的な企画と周到な準備のもとにホットなテーマの特集、解説、連載記事や新たな企画で内容の充実を図った。とりわけ、5 月号は学会創設 20 周年記念企画特集号として発行した。

2006 年度の表彰では、功績賞 1 件、功労賞 1 件、記念事業賞 1 件、論文賞 1 件、研究会優秀賞 11 件、全国大会優秀賞 11 件を選定した。

他学会との協調による学会活動の活性化と多様化を推進するため、国内外の人工知能関連のイベントを積極的に共催(2 件)・協賛(63 件)・後援(1 件)した。

会員数の推移は、昨年度活性化対策の効果で学生会員の入会が増え、長い間の悲願であった会員数の減少に歯止めが掛かった。しかし、本年度は残念ながら正会員、学生会員、賛助会員、特殊購読会員とも減少となった。とりわけ、賛助会員の減少は学会財政に与える影響が大きいため今後の課題となった。

広報活動の一環として、全国大会招待講演のオンライン配信を追加してホームページの充実をはかると同時に、非会員も登録可能なメーリングリストの運用を推進するなど、会員外の方々へのサービスの充実にも注力した。

(1) 研究発表会、講演会等の開催 (定款 5 条 1 号)

① 第 20 回全国大会 (学会創設 20 周年記念大会)

- ・日 時：平成 18 年 6 月 7 日 (水) ～6 月 9 日 (金)
- ・場 所：江戸川区総合区民ホール (東京都江戸川区船堀 4-1-1)
- ・組 織：大会委員長 浅川 和雄 (富士通研究所)
大会副委員長 (プログラム委員長) 武田 英明 (国立情報学研究所)
大会副委員長 (実行委員長) 磯崎 秀樹 (NITT)
実行副委員長 関口 実 (富士通研究所)
プログラム副委員長 長尾 確 (名古屋大学)
- ・招待・基調講演
招待講演：「現代社会と科学・技術」 村上 陽一郎 (国際基督教大学)
基調講演：「AI コアと情報環境/周辺」 石塚 満 (東京大学)

・20周年記念企画事業

「AI若手研究者のためのキャリアデザイン能力育成事業：幸福な研究人生に至る道」で開発された学習教材 Happy Academic Life 2006 のゲーム大会を開催

・一般発表件数

合計	口頭発表	デジタルポスタ	近未来チャレンジ	オーガナイズド
288	155	9	45	79

・参加者

参加者数：519名	会員（338名）		非会員（181名）	
	一般	学生	一般	学生
発表参加者（269名）	106名	57名	35名	71名
聴講参加者（250名）	160名	15名	46名	29名

② 全国大会併設国際ワークショップ（JSAI2006 International Workshops）

・日 時：平成18年6月5日（月）～6日（火）

・場 所：江戸川区総合区民ホール（東京都江戸川区船堀4-1-1）

参加者数：80名 （内海外：14名）	Logic and Engineering of Natural Language Semantics 2006	Workshop on Learning with Logics and Logics for Learning	Workshop on Risk Mining 2006
発表参加者（42名）	16名	13名	13名
聴講参加者（38名）	15名	12名	11名

③ 第1種研究会（研究会運営委員会：奥村明俊委員長，鷲尾隆副委員長）

(1) 人工知能基本問題研究会（旧人工知能基礎論研究会）（略称 SIG-FPAI）

主査：有村 博紀

幹事：山本 章博，相原 健郎，伊藤 公人，喜田 拓也，坂本 比呂志，村上 知子

回	開催日	場 所	演題数	参加者	備 考
63	平成18年9月8日～9日	九州工業大学	21	43	
64	平成18年10月30日～31日	大阪大学	14	66	情処・信学会と共催
65	平成19年3月26日～27日	北海道大学	12	38	

(2) 知識ベースシステム研究会（略称 SIG-KBS）

主査：栗原 聡

幹事：村田 剛志，角所 考，風間 一洋，秋山 英三，森山 甲一

回	開催日	場 所	演題数	参加者	備 考
74	平成18年7月27日～28日	東京工業大学	6	22	情報処理と連続開催
75	平成18年12月13日	慶応義塾大学	10	60	情処・信学会と共催
76	平成19年1月22日～23日	慶応義塾大学	18	68	電子情報通信と共催
77	平成19年3月29日～30日	筑波大学	16	34	

(3) 言語・音声理解と対話処理研究会（略称 SIG-SLUD）

主査：片桐 恭弘

幹事：堀内 靖雄, 矢野 博之, 駒谷 和範, 徳久 良子

回	開催日	場所	演題数	参加者	備考
47	平成18年6月29日～30日	名桜大学	13	28	
48	平成18年11月16日～17日	プラザ京都	10	83	AIチャレンジと共催
49	平成19年3月2日	NII	11	52	

(4) 先端的学习科学と工学研究会 (旧知的教育システム研究会) (略称 SIG-ALST)

主査：池田 満

幹事：柏原 昭博, 加藤泰久, 小西 達裕

回	開催日	場所	演題数	参加者	備考
47	平成18年5月13日	機械振興会館	11	45	電子情報通信と共催
48	平成18年10月28日	名古屋大学	10	22	
49	平成19年3月18日～19日	KKR 白浜	14	20	

④ 第2種研究会 (研究会運営委員会：奥村明俊委員長, 鷲尾隆副委員長)

(1) AIチャレンジ研究会 (略称 SIG-Challenge)

主査：奥乃 博

幹事：浅田 稔, 中臺 一博, 光永 法明

回	開催日	場所	演題数	参加者	備考
23	平成18年5月4日	北九州会議場	8	30	
24	平成18年11月16日～17日	プラザ京都	11	83	SLUD研究会と共催

(2) 分子生物情報研究会 (SIG-MBI)

主査：佐藤 賢二 (北陸先端科学技術大学院大学)

幹事：矢田 哲士, ポール・ホートン, 太田 元規, 片山 俊明, 長嶋 剛史, 建石 由佳, 吉川 澄美

回	開催日	場所	演題数	参加者	備考
33	平成18年8月24日	東大医科研	8	38	
34	平成18年12月8日	東京工業大学	6	78	
35	平成19年3月2日～3日	北陸先端科技大	13	34	

(3) ことば工学研究会 (略称 SIG-LSE)

主査：阿部 明典

幹事：緒方 典裕, 笠原 要

回	開催日	場所	演題数	参加者	備考
23	平成18年8月5日	神奈川大学	6	15	
24	平成18年12月15日～16日	大阪大学	9	20	
25	平成19年3月16日～17日	東京外国語大学	12	24	

(4) セマンティックウェブとオントロジー研究会 (略称 SIG-SWO)

主査：山口 高平, 池田 満

幹事：武田 英明, 川村 隆浩, 平松 薫, 堀 雅洋

回	開催日	場所	演題数	参加者	備考
13	平成18年7月3日	慶応義塾大学	6	40	
14	平成18年11月21日	NII	11	55	
15	平成19年3月30日～31日	北陸先端科技大	9	33	

(5) 社会における AI 研究会 (略称 SIG-SAI)

主査：神成 淳司

幹事：松原 仁, 桑田 喜隆, 田所 諭

回	開催日	場 所	演題数	参加者	備 考
1	平成 18 年 8 月 30 日	ダイビル	2	7	
2	平成 18 年 11 月 30 日～12/1	松下電工 東京	24	48	情処・信学会と合同開催

(6) データマイニングと統計数理研究会 (略称 SIG-DMSM)

主査：鷺尾 隆, 樋口 知之

幹事：猪口 明博, 平野 章二, 南 弘征, 山口 類

回	開催日	場 所	演題数	参加者	備 考
1	平成 18 年 7 月 11 日	数理統計研	10	67	
2	平成 18 年 9 月 25 日～26 日	札幌	37	64	
3	平成 19 年 2 月 27 日～28 日	兵庫県立大学	19	47	

(7) 幼児のコモンセンス知識研究会 (略称 SIG-ICK)

主査：竹林 洋一

幹事：桐山 伸也

回	開催日	場 所	演題数	参加者	備 考
1	平成 18 年 10 月 21 日	内田洋行 東京	3	36	
2	平成 18 年 12 月 9 日	静岡大学	4	71	

⑤ セミナーほかの開催

(1) セミナー (企画委員会：辻野克彦委員長, 伊庭斉志副委員長)

回	開催日	テーマ	場 所	演題数	参加者
52	平成 18 年 5 月 25 日	知的システムの基盤技術	神戸国際会館	4	38
53	平成 18 年 11 月 13 日	ヒューマンエージェントインタラクション	慶応義塾大学 日吉	5	73
54	平成 18 年 12 月 22 日	サービスサイエンスの動向と人工知能研究の可能性	慶応義塾大学 日吉	4	28

(2) 第 7 回 AI 若手の集い MYCOM2006 (実行委員会：矢入健久委員長)

回	開催日	目 的	場 所	演題数	参加者
7	平成 18 年 6 月 11 日～12 日	AI と関連分野の若手の交流	箱 根	26	32

(2) 学会誌, 論文誌, その他の刊行物の発行 (定款 5 条 2 号)

① 人工知能学会誌 (編集委員会：西田豊明委員長, 山口高平副委員長)

発行年月日	巻	号	部 数	頁 数	備 考
平成 18 年 5 月 1 日	21	3	3,800	122	学会創設 20 周年記念号, 特集「学会の現在, 過去, 未来—初期会長座談会—」
平成 18 年 7 月 1 日	21	4	3,800	128	特集「ソーシャルネットワーク時代の Web インタラクション」
平成 18 年 9 月 1 日	21	5	3,800	124	特集「MindStorms と高等教育」, 「情報セキュリティと AI」

平成18年11月1日	21	6	3,800	142	特集「HAI：ヒューマンエージェントインガレーションの最先端」
平成19年1月1日	22	1	3,800	172	特集「バイオインフォマティクスと人工知能の新たなインタラクション」
平成19年3月1日	22	2	3,765	128	特集「複合医工学」「情報爆発時代に向けた新しいIT基盤技術の研究」

② 人工知能学会論文誌（編集委員会：西田豊明委員長，山口高平副委員長）

（独）科学技術振興機構のJ-Stageを利用してオンラインジャーナルを随時発行
J-stage (<http://www.jstage.jst.go.jp/ja/>)

- ・Vol. 21-3：11編（アブストラクトを人工知能学会誌第21巻第3号に掲載）
- ・Vol. 21-4：11編（アブストラクトを人工知能学会誌第21巻第4号に掲載）
- ・Vol. 21-5：3編（アブストラクトを人工知能学会誌第21巻第5号に掲載）
- ・Vol. 21-6：9編（アブストラクトを人工知能学会誌第21巻第6号に掲載）
- ・Vol. 22-1：10編（アブストラクトを人工知能学会誌第22巻第1号に掲載）
- ・Vol. 22-2：15編（アブストラクトを人工知能学会誌第22巻第2号に掲載）

ハードコピー版（保存版合本）

11月にVol. 21-1からVol. 21-6までの1年分の論文57編のハードコピーを1冊にまとめ、人工知能学会論文誌Vol. 21, 2006として発行した。

③ 「知の科学」シリーズの出版（平成17年1月より刊行開始：既刊6冊）

出版委員会：堀浩一，石塚満，奥乃博，折原良平，武田英明，沼尾雅之，松原仁，大須賀節雄

書名	発行日	著者名
知性の創発と起源	平成18年7月20日	鈴木宏昭編
福祉と情報技術	平成18年9月15日	市川熹・手嶋教之共著
音声対話システム	平成18年8月15日	河原達也・荒木雅弘共著

(3) 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款5条3号）

① 平成18年度功績賞・功労賞（第21回全国大会で表彰の予定：平成19年6月21日）

学会規程に基づき，正会員による候補の推薦および功績賞・功労賞等選定委員会（委員長：浅川和雄副会長）の審査を経て，第217回理事会で下記の受賞者を選定した。

功績賞受賞者：石塚満（東京大学）

功労賞受賞者：武田英明（国立情報学研究所）

② フェロー（第21回全国大会で表彰の予定：平成19年6月21日）

本年度制定されたフェローに関する規程に基づき，正会員による候補の推薦及び功績賞・功労賞等選定委員会（委員長：浅川和雄副会長）の審査を経て，第217回理事会で下記の11名（会員番号順）を認定した。

福村晃夫（中京大学），大須賀節雄（東京大学名誉教授），辻三郎（大阪大学名誉教授），志村正道（武蔵工業大学），榎本肇（東京工業大学名誉教授），堂下修司（京都大学名誉教授），田中英彦（情報セキュリティ大学院大学），白井克彦（早稲田大学），白井良明（立命館大学），田中穂積（中京大学），石塚満（東京大学）

③ 記念事業賞（第20回全国大会で表彰：平成18年6月8日）

20周年記念事業企画公募に応募され作品の中から20周年記念事業委員会（石塚満委員長，寺野隆雄副

委員長) で選定された下記の事業を表彰した。

タイトル：AI 若手研究者のためのキャリアデザイン能力育成事業：幸福な研究人生に至る道

グループ：研究人生を楽しむ会（山川 宏，市瀬 龍太郎，太田 正幸，加藤 義清，庄司 裕子，松尾 豊）

④ 平成 18 年度学会論文賞（第 21 回全国大会で表彰の予定：平成 19 年 6 月 21 日）

学会規程に基づき，論文誌第 21 巻第 1 号～第 6 号に発表された論文（ショートノート，技術資料を含む）を対象に，正会員による候補の推薦および論文賞選定委員会（委員長：西田豊明理事）の審査を経て，第 217 回理事会で下記の論文を選定した。

- ・「木構造データに対するカーネル関数の設計と解析」（Vol. 21. No. 1, pp.113-121）

鹿島 久嗣，坂本 比呂志，小柳 光生

⑤ 平成 18 年度研究会優秀賞（第 21 回全国大会で表彰の予定：平成 19 年 6 月 21 日）

学会規程に基づき，平成 18 年度の研究会で発表された論文を対象に，選定委員会（委員長：奥村明俊理事）による審査を経て，第 217 回理事会で下記の 11 編の論文を選定した。

- ・「身体スキル発想支援の非単調推論によるモデル化について」 古川 康一，小林郁夫
- ・「機械学習問題としてのオントロジーマッピング」 市瀬 龍太郎
- ・「セマンティックビデオオーサリングによるニュース動画群からのダイジェスト生成」
伊藤 一成，藤原 司，橋田 浩一
- ・「マルチエージェントモデルを用いた SNS の分析」 鳥海 不二夫，石田 健，石井 健一郎
- ・「3 人会話における談話行為と受け手の同時推定」 松坂 要佐，榎本 美香，伝 康晴
- ・「環境リスクマネジメント学習支援と受講モデリング」
松井 孝典，岡野 雅通，加藤 悟，斎藤 修，伊藤 備一郎，佐藤 省三，盛岡 通
- ・「空間的サブトラクションアレーにおける雑音推定処理の独立成分分析による高精度化」
高橋 祐，高谷 智哉，猿渡 洋，鹿野 清宏
- ・「国語辞典における多義語の意味区分の比較」 柏野 和佳子
- ・「ユーザ興味オントロジーを用いたイノベーション検出手法」 中辻 真，三好 優，吉田 誠，大塚 祥広
- ・「Local Fisher Discriminant Analysis for Dimensionality Reduction」 杉山 将
- ・「幾何学的制約に基づいた高相関変数集合導出手法」 中西 耕太郎，鷺尾 隆

⑥ 平成 18 年度全国大会優秀賞（人工知能学会誌 Vol.21, No.6 で表彰：平成 18 年 11 月 1 発行）

全国大会表彰規程および選定細則に基づき，全国大会開催期間平成 18 年 6 月 7 日から 9 日までに発表された全件を対象にプログラム委員，各セッションの座長，オーガナイザに優秀賞候補の推薦を依頼し，平成 18 年度全国大会優秀賞選定委員会（武田英明委員長以下 22 名）により慎重かつ厳正に審議した結果，11 件が最終候補として選定され，第 210 回理事会において承認されましたので，各論文の筆頭著者に賞状を贈呈した。

- ・「Viewlon によるセマンティック・センサネットワーク情報の可視化」 古山 真之
- ・「ディスカッションオントロジー：実世界の会議における人間行動から取得した
メタデータ解析による知識発見」 友部 博教
- ・「知識共有コミュニティを創り出す人たち」 三浦 麻子
- ・「楽曲構造束とその上の演算系」 平田 圭二
- ・「等高線表現を用いたコンテンツアーカイブの可視化」 久保田 秀和
- ・「Weblog から社会の関心を探る」 福原 知宏

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| ・「部分時系列クラスタリングの理論的基礎」 | 井手 剛 |
| ・「確率的空間記憶モデルに基づく人間ロボット間の協調的タスク遂行システム」 | 稲邑 哲也 |
| ・「言語グリッド (Language Grid)の構想」 | 村上 陽平 |
| ・「カーネル特徴空間における正準角を利用した宇宙機異常検知法」 | 藤巻 遼平 |
| ・「タンパク質相互作用属性の出現解析とその予測」 | 山川 宏 |

(4) 研究及び調査の実施 (定款 5 条 4 号)

- ① ロボット分野における人工知能の将来技術に関連する文献調査
 日本総合研究所, 日本ロボット学会, 人工知能学会及び日本人間工学会で締結との覚書に基づき, 下記の2つの委員会を設立・主催・運営した。
- ・人間系融合領域アカデミックロードマップ作成委員会
 - ・情報系複合領域アカデミックロードマップ作成委員会

(5) 関連学術団体との連絡及び協力 (定款 5 条 5 号)

以下のような依頼が理事会で承認 (共催 2 件, 協賛 63 件, 後援 1 件) されたので, 学会誌やホームページを利用して PR し, 他学会との協調による学会活動の活性化および多様化を推進した。

① 共催 2 件

- (01) 「Workshop on Information Credibility on the Web」情報通信研究機構 (19.6.18-19)
- (02) 「ロボカップ・ジャパンオープン 2007 大阪」ロボカップ日本委員会 (19.5.3-5) JSAI 賞を贈呈

② 協賛 63 件

- (01) 「セミナー：ロボットの作り方 2006」日本ロボット学会 (18.5.24)
- (02) 「第 5 回 ITS シンポジウム 2006」実行委員会 (18.12.7-8)
- (03) 「第 16 回設計工学・システム部門講演会」日本機械学会 (18.11.15-17)
- (04) 「第 49 回自動制御連合講演会」システム制御情報学会ほか (18.11.25-26)
- (05) 「カラーフォーラム JAPAN 2006」実行委員会 (18.11.27-29)
- (06) 「セミナー：ロボットののための音響・音声・対話処理」日本ロボット学会 (18.7.27)
- (07) 「The 11th Pacific-Asia Conference on Knowledge Discovery and Data Mining」実行委員会 (19.5.22-25)
- (08) 「第 22 回ファジイシステムシンポジウム」日本知能情報ファジイ学会 (18.9.6-8)
- (09) 「第 7 回最適化シンポジウム 2006」日本ロボット学会 (18.12.12-13)
- (10) 「米国機械学会日本支部 20 周年記念行事」ASME 日本支部 (18.10.20)
- (11) 「教育システム情報学会第 31 回全国大会」教育システム情報学会 (18.8.23-25)
- (12) 「HAI シンポジウム 2006 (HAI'06)」実行委員会 (18.12.12-13)
- (13) 「第 9 回情報論的学習理論ワークショップ」実行委員会 (18.10.31-11.1)
- (14) 「The Twentieth International Conference IEA/AIE-2007」実行委員会 (19.6.25-29)
- (15) 「2007 IEEE/ICME 複合医工学国際会議」IEEE/ICME (19.5.23-27)
- (16) 「SICE システム・情報部門学術講演会」計測自動制御学会 (18.11.28-30)
- (17) 「セミナー：現代制御理論入門」計測自動制御学会 (18.9.4-5)
- (18) 「第 21 回生体・生理工学シンポジウム」計測自動制御学会 (18.11.17-19)

- (19) 「生体医工学シンポジウム 2006」 日本生体医工学会 (18.9.23-24)
- (20) 「講習会：明日から始める産学連携」 日本機械学会 (18.11.27)
- (21) 「ロボティクス・メカトロニクス講演会 2006」 日本機械学会 (19.5.10-12)
- (22) 「計量心理学会国際大会 IMPS2007」 組織委員会 (19.7.9-13)
- (23) 「第 8 回日本感性工学会年次大会」 日本感性工学会 (18.9.13-15)
- (24) 「第 56 回科学講演会：免疫の戦略」 東レ科学振興会 (18.9.22)
- (25) 「セミナー：測位衛星技術が支える社会」 システム制御情報学会 (18.10.12)
- (26) 「セミナー「浮かぶロボット～軽航空機ロボティクス～」 日本ロボット学会 (18.10.30)
- (27) 「マシンビジョン応用に関する IAPR 国際会議 MVA2007」 実行委員会 (19.5.16-18)
- (28) 「シンポジウム：ロボット技術と人間・社会との関わり」 IEEE SSIT (18.9.29)
- (29) 「シンポジウム：情報セキュリティと人工知能の融合」 情報セキュリティ大学院大学(18.11.1)
- (30) 「スケジューリング・シンポジウム 2006」 スケジューリング学会 (18.10.21-22)
- (31) 「講習会：工学が切り開く未来の医療」 システム制御情報学会 (18.11.13-14)
- (32) 「インタラクション 2007」 情報処理学会 (19.3.15-16)
- (33) 「セミナー：生活を支援するロボティクス」 日本ロボット学会 (18.11.27)
- (34) 「シンポジウム：今こそバイオインフォマティクス」 IPAB 事務局 (18.12.11)
- (35) 「セミナー：ポストロバスト制御理論と応用の新展開」 計測自動制御学会 (18.10.27)
- (36) 「第 34 回知能システムシンポジウム」 計測自動制御学会 (19.3.15-16)
- (37) 「第 25 回日本ロボット学会学術講演会」 日本ロボット学会 (19.9.13-15)
- (38) 「第 19 回自立分散システムシンポジウム」 計測自動制御学会 (19.1.29-30)
- (39) 「シンポジウム：モバイル 2007」 モバイル学会(19.5.10-11)
- (40) 「シンポジウム：社会情報基盤のための音声・映像の知的統合」 実行委員会 (18.12.8-8)
- (41) 「シンポジウム：科学技術情報の発信と活用のイノベーション」 未踏科学技術協会 (19.1.24)
- (42) 「セミナー：実践的な制御理論」 計測自動制御学会 (18.12.6-7)
- (43) 「シンポジウム：安全・安心の科学」 計測自動制御学会 (18.12.6-7)
- (44) 「日本感性工学会第 3 回春季大会」 日本感性工学会 (19.3.16-17)
- (45) 「セミナー：アドバンスト制御 基礎・先端・応用」 計測自動制御学会 (19.1.18-19)
- (46) 「セミナー：ロボット・インターラクシオン・テクノロジー」 日本ロボット学会 (19.7.12-13)
- (47) 「3 次元画像コンフェランス 2007」 実行委員会 (19.7.12-13)
- (48) 「The Twenty First International Conference on Industrial, Engineering & Other Applications of Applied Intelligent Systems IEA/AIE-2008」 実行委員会 (20.6.18-20)
- (49) 「スキルサイエンス国際シンポジウム ISSS'17」 実行委員会(19.9.18-20)
- (50) 「第 20 回バイオメカニズム・シンポジウム」 バイオメカニズム学会 (19.8.7-9)
- (51) 「第 6 回セマンティック Web 国際会議 ISWC2007」 SWSA (19.11.11-15)
- (52) 「シンポジウム：障害者の安全で快適な生活の支援技術」 実行委員会 (19.2.22-23)
- (53) 「第 3 回 Large-scale Knowledge Resource 国際会議」 COE プログラム (19.3.3-5)
- (54) 「第 26 回日本シミュレーション学会大会」 日本シミュレーション学会 (19.6.21-22)
- (55) 「セミナー：制御のためのシステム同定」 計測自動制御学会 (19.4.23-24)
- (56) 「International Conference on Advanced Intelligence」 中国 AI 学会 (19.8.25-28)
- (57) 「第 28 回バイオメカニズム学術講演会」 バイオメカニズム学会 (19.11.10-11)

- (58)「講習会：人間行動のモデリングと解析」計測自動制御学会（19.6.22）
- (59)「講座：実システムを指向したモデリングと制御」システム制御情報学会（19.6.19-20）
- (60)「ヒューマンインタフェースシンポジウム」ヒューマンインタフェース学会（19.9.3-6）
- (61)「第17回インテリジェントシステムシンポジウム」日本知能情報ファジィ学会（19.8.10-11）
- (62)「第6回ITSシンポジウム2007」ITS Japan（19.12.6-7）
- (63)「第8回SICEシステムインテグレーション部門講演会」計測自動制御学会（19.12.20-22）

③ 後援 1件

- (01)「情報社会のデザインシンポジウム2006」実行委員会（18.11.30-12.01）

会員の異動状況

会員種別	本年度末 平成19年3月31日	前年度末 平成18年3月31日	増減数	摘要
正会員	2,703	2,722	- 19	
学生会員	414	431	- 17	
名誉会員	6	6	0	
賛助会員(口数)	40 (95)	43 (103)	- 3 (- 8)	
特殊購読会員	81	85	- 4	
個人会員合計	3,123	3,159	- 36	

平成 19 年度事業計画書

前年度は、学会創設 20 周年の節目の年であり、全国大会をはじめとして各種記念事業・イベントを行なった。これをステップに今年度は、永遠の青年学会であるためのさらなる活性化施策を下記事業に積極的に反映する。

- ・人工知能学会誌, 人工知能学会論文誌, 「知の科学」シリーズ等の発行
- ・全国大会と併設国際ワークショップ, 研究会, 人工知能セミナー, 若手の集い等の開催
- ・業績賞, 論文賞, 研究会優秀賞, 全国大会優秀賞の表彰
- ・他学会や海外関連団体との連絡・協力による学会活動の活性化ならびに多様化の推進
- ・組織基盤の強化・拡充による会員サービスの向上

会誌は、引き続き本年度も魅力ある雑誌作りを目指して、タイムリーなテーマの特集記事や解説などで内容の充実をはかる。論文誌は、論文特集を積極的に企画して投稿論文の増加を図る。なお、2007 年度も 1 年分の論文をまとめた人工知能学会論文誌 Vol.22, 2007 を発行する。

全国大会は平成 19 年 6 月 20 日 (水) から 6 月 22 日 (金) の 3 日間、宮崎市のワールドコンベンションセンターサミットで開催する。また、同会場にて併設の国際ワークショップを 6 月 18 日 (月) と 19 日 (火) の 2 日間開催し、国際交流活動を推進する。

研究会は、従来の 11 研究会と新たに創設された 2 研究会で通常の研究会の開催のほか、他学会との共催研究会を開催して活性化・多様化を図るとともに、活性化活動の一環として新たな研究会の設立提案の募集活動を推進する。

定例行事として定着した AI 若手の集い (MYCOM2007) は第 8 回を宮崎市で開催する。

人工知能セミナーは、通常のセミナー 2 回と本年度新たに企画された卒論生と修士課程向けの第 1 回学生発表会を開催する。

ホームページとメーリングリストを介した広報活動を通して新規入会者の勧誘を行う。

(1) 研究発表会、講演会等の開催 (定款 5 条 1 号)

① 第 21 回全国大会

- ・日 時：平成 19 年 6 月 20 日 (水) ～6 月 22 日 (金)
- ・場 所：ワールドコンベンションセンターサミット (宮崎市山崎町浜山)
- ・組 織：大会委員長 堀 浩一 (東京大学)
大会副委員長 (プログラム委員長) 長尾 確 (名古屋大学)
大会副委員長 (実行委員長) 関口 実 (富士通研究所)
実行副委員長 堂坂 浩二 (NTT CS 研)
プログラム副委員長 横尾 真 (九州大学)
ローカル委員長 富田 重幸 (宮崎大学)
- ・招待・基調講演
招待講演：「Ruby のチカラ」 まつもとゆきひろ((株)ネットワーク応用通信研究所)
基調講演：「役に立つ AI 研究とは？ - オントロジー工学を例にして -」 溝口 理一郎(大阪大学)
- ・特別企画：「ロボット分野に関するアカデミックロードマップの作成」
- ・発表件数合計 352 件
口頭発表 204 件
デジタルポスタ発表 4 件
近未来チャレンジ 61 件

② 全国大会併設国際ワークショップ (JSAI2007 International Workshops)

- ・日 時：平成19年6月18日(月)～6月19日(火)
- ・場 所：ワールドコンベンションセンターサミット(宮崎市山崎町浜山)
- ・テーマ：
 - (1) Logic and Engineering of Natural Language Semantics 2007 (LENLS2007)
 - (2) International Workshop on Risk Informatics (RI2007)
 - (3) Fifth Workshop on Learning with Logics and Logics for Learning (LLLL 2007)
 - (4) 1st Workshop on Information Credibility on the Web
 - (5) First International Workshop on Juris-informatics (JURISIN 2007)

③ 第1種研究会(研究会運営委員会：鷲尾隆委員長)

(1) 人工知能基本問題研究会(略称 SIG-FPAI)

主査：有村 博紀

- 第66回 07月 大分 テーマ「ウェブマイニングと一般」
(電子情報通信学会 WI2 研究会と連続開催)
- 第67回 09月 東京 テーマ「スキルサイエンスと一般」
(スキルサイエンス国際シンポジウム ISSS'07 と連続開催)
- 第68回 11月 東京 テーマ「ペイジアンネットと因果推論及び一般」
(情報論的学習理論ワークショップ IBIS'07 と連続開催)
- 第69回 01月 東京 テーマ「機械学習と知識発見及び一般」
(電子情報通信学会 NC 研究会と連続開催)

(2) 知識ベースシステム研究会(略称 SIG-KBS)

主査：栗原 聡

- 第78回 07月 東京 テーマ「Web Intelligence」
- 第79回 11月 未定 テーマ「Human Agent Interaction」
(JAWS 特別セッション)
- 第80回 01月 未定 テーマ「Web 情報処理」
(電子情報通信学会知能ソフトウェア研究会との共催か単独)
- 第81回 03月 未定 テーマ「知能・適応と社会、ネットワーク」

(3) 言語・音声理解と対話処理研究会(略称 SIG-SLUD)

主査：片桐 恭弘

- 第50回 07月 徳島 テーマ「一般」
(情報処理学会 NL 研究会, 電子情報通信学会 NLC 研究会と連続開催)
- 第51回 11月 関西 テーマ「未定」
- 第52回 03月 東京 テーマ「未定」

(4) 先進的学習科学と工学研究会(略称 SIG-ALST)

主査：池田 満

- 第50回 07月 東京 テーマ「一般」
(IEEE Education Japan Chapter 協賛)
- 第51回 11月 東京 テーマ「未定」
- 第52回 03月 広島 テーマ「未定」
- 若手の会 12月中旬 会場・テーマ：未定

④ 第2種研究会（研究会運営委員会：鷺尾隆委員長）

(1) AI チャレンジ研究会（略称 SIG-Challenge）

主査：奥乃 博

第25回 05月 大阪 テーマ「RoboCup 特集」

第26回 11月 東工大 テーマ「ロボット聴覚特集」

(2) 分子生物情報研究会（SIG-MBI）

主査：佐藤 賢二

第36回 07月 未定 テーマ「未定」

第37回 11月 未定 テーマ「未定」

第38回 03月 未定 テーマ「オープンバイオ特集&一般講演」

（オープンバイオ研究会との共催）

(3) ことば工学研究会（略称 SIG-LSE）

主査：阿部 明典

第26回 07月 岩手 テーマ「未定」

（LCCII（旧LCC）との合同研究会）

第27回 07月 未定 テーマ「未定」

第28回 未定

(4) セマンテックウェブとオントロジー研究会（略称 SIG-SWO）

主査：山口 高平, 池田 満

第16回 07月 東京 テーマ「一般」

第17回 11月 東京 テーマ「一般およびISWC 特集」

第18回 03月 地方 テーマ「未定」

(5) 社会におけるAI研究会（略称 SIG-SAI）

主査：神成 淳司

第3回 08月 東京 テーマ「未定」

第4回 11月 東京 「情報社会のデザイン」合同シンポジウムとの共催を予定

(6) データマイニングと統計数理研究会（略称 SIG-DMSM）

主査：鷺尾 隆, 樋口 知之

第4回 07月 東京 テーマ「一般」

第5回 未定

第6回 未定

(7) 幼児のコモンセンス知識研究会（略称 SIG-ICK）

主査：竹林 洋一

第4回 08月 東京 テーマ「一般」

第5回 10月 東京 知識・技術・技能の伝承支援研究会と共催

第6回 03月 浜松 テーマ「未定」

(8) 知識・技術・技能の伝承支援研究会（略称 SIG-KST）

主査：稗方 和夫

第1回 06月 東京 テーマ「一般」

第2回 08月 東京 テーマ「中小製造業の技能継承支援」

第3回 10月 東京 テーマ「未定」

第4回 02月 幕張 テーマ「未定」

(9) ナチュラルコンピューティング研究会（略称 SIG-NC）

主査：鈴木 泰博

第1回 05月 東京 テーマ「生命とは何か？計算とは何か？」

第2回 未定

第3回 未定

⑤ セミナーほかの開催（企画委員会：伊庭 斉志委員長）

(1) 第55回人工知能セミナー（テーマ：「AI研究者のための数学セミナー」）

期 日：平成19年7月予定

場 所：未定

(2) 第56回人工知能セミナー（テーマ：「未定」）

期 日：平成19年11月頃

場 所：未定

(3) 第1回学生発表会（卒論生，M1，M2を中心）

期 日：平成20年3月予定

場 所：未定

(4) 第8回AI若手の集いMYCOM2007

期 日：平成19年6月23日（土）～24日（日）

場 所：ホテル金荘（宮崎市）

テーマ：「AI2.0」これからのAIのあるべき姿

講 師：武田英明（国立情報学研究所）

(2) 学会誌，論文誌，その他の刊行物の発行（定款5条2号）

① 人工知能学会誌（編集委員会：西田豊明委員長，山口高平副委員長）

発行年月日	巻	号	部数	頁数	備 考
平成19年5月1日	22	3	3,765	130	特集「ベイジアンネットワークと確率的情報処理の新展開」
平成19年7月1日	22	4	3,765	130	特集「知識継承」，特集「地上交通システムをより知的に」
平成19年9月1日	22	5	3,765	130	特集「現実テキストからの知識表現と推論の実現」，特集「定量的リスク科学」
平成19年11月1日	22	6	3,765	130	特集「未踏ソフト」
平成20年1月1日	23	1	3,765	130	特集「クリエイティビティとAI」
平成20年3月1日	23	2	3,765	130	連載チュートリアル 全8回「多人数インタラクションの分析手法」

② 人工知能学会論文誌（編集委員会：西田豊明委員長，山口高平副委員長）

(独) 科学技術振興機構のJ-Stageを利用してオンラインジャーナルを随時発行

J-stage (<http://www.jstage.jst.go.jp/ja/>)

- ・Vol. 22-3 : xx 編 (アブストラクトを会誌第22巻 第3号に掲載)
- ・Vol. 22-4 : xx 編 (アブストラクトを会誌第22巻 第4号に掲載)
- ・Vol. 22-5 : xx 編 (アブストラクトを会誌第22巻 第5号に掲載)
- ・Vol. 22-6 : xx 編 (アブストラクトを会誌第22巻 第6号に掲載)
- ・Vol. 23-1 : xx 編 (アブストラクトを会誌第23巻 第1号に掲載)
- ・Vol. 23-2 : xx 編 (アブストラクトを会誌第23巻 第2号に掲載)

ハードコピー版（保存版合本）

11月にVol. 22-1 からVol. 22-6 までの1年分の論文のハードコピーを1冊にまとめ、Vol. 22, 2007として発行する予定。

- ③ 「知の科学」シリーズの出版（平成17年1月より刊行開始：既刊9冊）
出版委員会：堀 浩 一委員長

書 名	発 行 日	著 者 名
知識創造支援の理論と応用	平成19年11月刊行予定	堀 浩一 著
サポートベクターマシン	平成19年12月刊行予定	小野田 崇 著

(3) 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款5条3号）

- ① 平成19年度業績賞（第22回全国大会で表彰の予定：平成20年6月）
学会規程に基づき、正会員による候補の推薦および業績賞選定委員会（委員長：堀浩一副会長）の審査を経て、第227回理事会で下記の受賞者を選定する予定。
- ② 平成19年度学会論文賞（第22回全国大会で表彰の予定：平成20年6月）
学会規程に基づき、論文誌第22巻第1号～第6号に発表された論文（ショートノート、技術資料を含む）を対象に、正会員による候補の推薦および論文賞選定委員会（委員長：西田豊明理事）の審査を経て、第227回理事会で選定する予定。
- ③ 平成19年度研究会優秀賞（第22回全国大会で表彰の予定：平成20年6月）
学会規程に基づき、平成19年度の研究会で発表された論文を対象に、選定委員会（委員長：鷲尾隆理事）による審査を経て、第227回理事会で選定する予定。
- ④ 平成19年度全国大会優秀賞（人工知能学会誌 Vol.22, No.6 で表彰：平成19年11月1発行）
全国大会表彰規程に基づき、全国大会開催期間平成19年6月20日から22日までに発表された全件を対象にプログラム委員、各セッションの座長、コメンテーター、オーガナイザーに優秀賞候補の推薦を依頼し、その結果を2007年度全国大会優秀賞選定委員会（長尾確委員長）による審査を経て、理事会で選定する予定。

(4) 研究及び調査の実施（定款5条4号）

- ① ロボット分野における人工知能の将来技術に関連する文献調査
日本総合研究所、日本ロボット学会、人工知能学会及び日本人間工学会で締結との覚書に基づき、下記の2つの委員会の活動を継続する。
- ・人間系融合領域アカデミックロードマップ作成委員会
 - ・情報系複合領域アカデミックロードマップ作成委員会

(5) 関連学術団体との連絡及び協力（定款5条5号）

昨年度に引き続き、他学会との協調により学会活動の活性化、多様化を推進する。

(6) その他目的を達成するために必要な事業（定款5条6号）

ありません。

(7) 会議等に関する事項

① 総会

平成19年度第22回通常総会

6月21日(木) ワールドコンベンションセンターサミット(宮崎市) で開催の予定

② 理事会

6月, 10月を除く各月に計10回開催の予定

③ 委員会

会誌編集委員会, 研究会運営委員会, 企画委員会, 全国大会委員会/実行委員会/プログラム委員会, 広報委員会, 財務委員会, 総務委員会, 業績賞選定委員会, 出版委員会, 活性化委員会, 倫理委員会を随時開催の予定.

(8) 平成19年度役員構成(案)

別紙参照

(9) 平成19年度評議員構成(案)

別紙参照

平成 19 年度人工知能学会役員構成（案）

全員：非常勤

役職名	種別	氏 名	所 属
会 長	留任	溝口 理一郎	大阪大学 産業科学研究所 知識システム研究部門
副会長	留任	堀 浩一	東京大学 先端学際工学専攻知能工学講座
副会長	新任	沼尾 雅之	日本アイ・ビー・エム(株) 東京基礎研究所
理 事	新任	市山 俊治	日本電気(株) インターネットシステム研究所
理 事	留任	伊庭 斉志	東京大学大学院 新領域創成科学研究科
理 事	留任	木下 聡	(株)東芝 研究開発センター 知識メディアラボラトリ
理 事	新任	佐川 浩彦	(株)日立製作所 中央研究所 知能システム研究部
理 事	留任	佐藤 健	国立情報学研究所 情報学プリンシプル研究系
理 事	新任	辻野 克彦	三菱電機(株) 開発戦略部 連携推進グループ
理 事	留任	堂坂 浩二	日本電信電話(株) NTT コミュニケーション科学基礎研究所
理 事	新任	中小路 久美代	(株)SRA先端技術研究所/東京大学先端科学技術研究センター
理 事	留任	西田 豊明	京都大学大学院 情報学研究科 知能情報学専攻
理 事	新任	新田 克己	東京工業大学大学院 総合理工学研究科 知能システム科学専攻
理 事	新任	丸山 文宏	(株)富士通研究所 IT コア研究所
理 事	新任	宮下 和雄	産業技術総合研究所 つくば東事業所 知能システム研究部門
理 事	新任	三輪 和久	名古屋大学大学院 人間情報学研究科認知情報論講座
理 事	留任	横尾 真	九州大学 システム情報科学研究院
理 事	新任	吉岡 健	富士ゼロックス(株) 中央研究所 知識研究室
理 事	留任	鷺尾 隆	大阪大学 産業科学研究所 知能システム科学研究部門
理 事	留任	渡辺 日出雄	日本アイ・ビー・エム(株) 東京基礎研究所

監事 留任 管村 昇

工学院大学 CPD センター

監事 新任 梶 博行

静岡大学 情報学部 情報科学科

(理事は五十音順, 敬称略)

平成 19 年度評議員構成 (案)

氏 名	種 別	所 属
秋吉 政徳	再任	大阪大学 情報科学研究科 マルチメディア工学専攻
阿久津 達也	留任	京都大学 化学研究所 バイオインフォマティクスセンター
浅田 稔	再留任	大阪大学大学院 工学研究科 知能・機能創成工学専攻
麻生 英樹	再留任	産業技術総合研究所 情報技術研究部門
阿部 亨	留任	東北大学 情報シナジーセンター
安部 憲広	留任	九州工業大学 情報工学部 機械システム工学科
池田 満	再留任	北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科
池田 裕治	留任	キヤノン(株) PF 技術開発センター コンピュータ技術第三開発部
石川 泰	再留任	三菱電機(株) 情報技術総合研究所
磯崎 秀樹	留任	日本電信電話(株) コミュニケーション科学基礎研究所
伊藤 慶明	留任	岩手県立大学 ソフトウェア情報学部
岩崎 弘利	留任	(株)デンソーアイティラボラトリ 研究開発グループ
岩橋 直人	再留任	(株)国際電気通信基礎技術研究所 音声言語コミュニケーション研究所
内平 直志	新任	(株)東芝 研究開発センター
浦本 直彦	新任	日本アイ・ビー・エム(株) 東京基礎研究所
岡田 孝	新任	関西学院大学 理工学部 岡田研究室
岡田 美智男	新任	豊橋技術科学大学 知識情報工学系
奥乃 博	再任	京都大学大学院 情報学研究科 知能情報学専攻
奥村 明俊	新任	日本電気(株) メディア情報研究所
鬼澤 武久	再留任	筑波大学 システム情報工学研究科
小野田 崇	再任	(財)電力中央研究所 システム技術研究所
折原 良平	再任	(株)東芝 研究開発センター システム技術ラボラトリー
柏原 昭博	再任	電気通信大学 電気通信学部 情報通信工学科
片上 大輔	新任	東京工業大学大学院 総合理工学研究科 知能システム科学
加藤 昇平	留任	名古屋工業大学 工学研究科 情報工学専攻
加藤 恒昭	再留任	東京大学大学院 総合文化研究科 言語情報科学専攻
河岡 司	留任	同志社大学 工学部 知識工学科

川崎 明彦	新任	(株)日立製作所 システム開発研究所 第7部
河原 達也	再留任	京都大学 学術情報メディアセンター (南館)
菊池 英明	新任	早稲田大学 人間科学学術院
黄瀬 浩一	再留任	大阪府立大学大学院 工学研究科 情報工学分野
北上 始	再留任	広島市立大学 情報科学部 知能情報システム工学科
桐山 伸也	留任	静岡大学 情報学部 情報科学科
栗田 多喜夫	留任	産業技術総合研究所 脳神経情報研究部門
桑田 喜隆	留任	(株)NTT データ 技術開発本部 エキスパートプラットフォームグループ
小暮 潔	留任	(株)国際電気通信基礎技術研究所 知識科学研究所
小長谷 明彦	再留任	理化学研究所 横浜研究所 ゲノム科学総合センター
小西 達裕	再任	静岡大学 情報学部 情報科学科
斉藤 和巳	新任	日本電信電話(株) コミュニケーション科学基礎研究所
櫻井 彰人	再留任	慶応義塾大学 理工学部 管理工学科
桜井 成一朗	留任	明治学院大学 大学院 法務職研究科
柴田 博仁	再任	富士ゼロックス(株) 研究本部 未来ワーク研究所
白井 英俊	留任	中京大学 情報理工学部
新谷 虎松	留任	名古屋工業大学 知能情報システム学科
末田 直道	再任	大分大学 工学部 知能情報システム工学科
杉村 領一	留任	パナソニックモバイルコミュニケーションズ
杉本 謙二	再任	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
鈴木 宏昭	再留任	青山学院大学 文学部教育学科
住田 一男	再留任	(株)東芝 研究開発センター 知識メディアラボラトリー
園田 隆志	再留任	富士ゼロックス(株) 研究本部
竹内 章	再任	九州工業大学 情報工学部 知能情報工学科
武田 英明	留任	国立情報学研究所
田中 伸一郎	留任	トヨタ自動車株式会社 F P部
田中 譲	留任	北海道大学 工学研究科 電子情報工学専攻
辻 秀一	再任	東海大学 情報理工学部 情報メディア学科
辻井 潤一	再留任	東京大学大学院 情報理工学系研究科
土屋 俊	再留任	千葉大学 文学部
寺野 隆雄	新任	東京工業大学 知能システム科学専攻
東条 敏	留任	北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
徳永 健伸	留任	東京工業大学 情報理工学研究科
中島 克人	再任	東京電機大学 工学部 情報メディア学科
中野 幹生	留任	(株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン
西野 哲朗	留任	電気通信大学 電気通信学部 情報通信学科
沼尾 正行	留任	大阪大学 産業科学研究所 知能アーキテクチャー研究部門
橋田 浩一	再留任	産業技術総合研究所 情報技術研究部門
長谷川 隆三	再留任	九州大学大学院 システム情報科学研究院
馬場口 登	再留任	大阪大学大学院 工学研究科 電気電子情報工学専攻

久光 徹	新任	(株)日立製作所 中央研究所 情報システム研究センタ
平賀 譲	留任	筑波大学 図書館情報学部
平嶋 宗	新任	広島大学大学院 工学研究科
平田 圭二	留任	日本電信電話(株) コミュニケーション科学基礎研究所
平山 勝敏	再任	神戸大学大学院 海事科学研究科
房岡 璋	留任	立命館大学 理工学部情報学科
藤田 悟	再任	日本電気(株) 第二システムソフトウェア事業部
古川 康一	再留任	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科
前田 章	再任	(株)日立製作所 システム開発研究所
間瀬 健二	再任	名古屋大学 情報連携基盤センター
松居 辰則	留任	早稲田大学 人間科学部 人間情報科学科
松原 仁	留任	公立はこだて未来大学 システム情報科学部
松本 裕治	再留任	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
宮野 悟	再留任	東京大学 医科学研究所 ヒトゲノム解析センター
村田 真樹	新任	独立行政法人 情報通信研究機構
毛利 友治	再任	(株)富士通研究所 特許推進部
森田 幸伯	再任	沖電気工業(株) 研究開発本部
矢田 勝俊	再留任	関西大学 商学部
山岡 孝行	新任	三菱電機(株) 名古屋製作所 FA システム部
山田 誠二	留任	国立情報学研究所 知能システム研究系
山之内 徹	再任	日本電気(株) インターネットシステム研究所
吉岡 真治	留任	北海道大学大学院 情報科学研究科
吉田 健一	新任	筑波大学大学院 ビジネス科学研究所

留任	56名	内訳(昨年度) 大学関係：56名(56名)
新任	15名	国立機関：07名(06名)
再任	19名	企業関係：27名(30名)
合計	90名	合計：90名(92名)

貸借対照表

平成19年 3月31日現在

一般会計

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	33,293,696	35,460,077	△ 2,166,381
未収会費	2,124,000	2,173,000	△ 49,000
未収金	2,380,923	1,210,835	1,170,088
前払金	69,000	190,980	△ 121,980
仮払金	0	45,360	△ 45,360
流動資産合計	37,867,619	39,080,252	△ 1,212,633
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	35,000,000	35,000,000	0
基本財産合計	35,000,000	35,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当金	8,139,311	7,081,405	1,057,906
会費未納分除却引当金	2,895,595	2,894,678	917
事務所整備積立金	4,408,448	1,407,691	3,000,757
記念事業積立金	7,756,327	11,057,235	△ 3,300,908
名簿発行積立金	0	806,788	△ 806,788
国際会議積立金	12,242,456	12,635,558	△ 393,102
国際活動積立金	9,815,481	9,810,824	4,657
活性化積立金	5,658,991	6,771,136	△ 1,112,145
普及啓蒙活動積立金	2,464,918	2,463,451	1,467
I S W C 会議積立金	1,956,634	2,189,721	△ 233,087
特定資産合計	55,338,161	57,118,487	△ 1,780,326
(3) その他固定資産			
電話加入権	220,584	220,584	0
郵便物受取人	777,000	777,000	0
入居保証金	4,344,000	4,344,000	0
その他固定資産合計	5,341,584	5,341,584	0
固定資産合計	95,679,745	97,460,071	△ 1,780,326
資産合計	133,547,364	136,540,323	△ 2,992,959
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,012,398	4,130,038	△ 2,117,640
前受金	880,000	1,863,500	△ 983,500
前受会費	9,241,000	8,679,000	562,000
職員に対する社会保険料等	498,666	232,288	266,378
誤入金・過入金等	270,740	269,740	1,000
未払消費税等	547,000	569,700	△ 22,700
流動負債合計	13,449,804	15,744,266	△ 2,294,462
2. 固定負債			
退職給付引当金	8,139,311	7,081,405	1,057,906
会費未納分除却引当金	2,895,595	2,894,678	917
事務所整備積立金	4,408,448	1,407,691	3,000,757
記念事業積立金	7,756,327	11,057,235	△ 3,300,908
名簿発行積立金	0	806,788	△ 806,788
国際会議積立金	12,242,456	12,635,558	△ 393,102
国際活動積立金	9,811,566	9,810,824	742
活性化積立金	5,658,991	6,771,136	△ 1,112,145
普及啓蒙活動積立金	2,468,833	2,463,451	5,382
I S W C 会議積立金	1,956,634	2,189,721	△ 233,087
固定負債合計	55,338,161	57,118,487	△ 1,780,326

科 目	当年度	前年度	増 減
負債合計	68,787,965	72,862,753	△ 4,074,788
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	64,759,399	63,677,570	1,081,829
正味財産合計	64,759,399	63,677,570	1,081,829
負債及び正味財産合計	133,547,364	136,540,323	△ 2,992,959

正味財産増減計算書

平成18年 4月 1日から平成19年 3月31日まで

一般会計

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[10,500]	[10,500]	[0]
基本財産受取利息	10,500	10,500	0
特定資産運用益	[30,507]	[0]	[30,507]
特定資産受取利息	30,507	0	30,507
受取入金会金	[330,000]	[362,000]	[△ 32,000]
受取正会員入会金	218,000	236,000	△ 18,000
受取学生会員入会金	112,000	126,000	△ 14,000
受取会費	[37,501,000]	[38,419,000]	[△ 918,000]
正会員受取会費	27,030,000	27,220,000	△ 190,000
学生会員受取会費	1,656,000	1,724,000	△ 68,000
賛助会員受取会費	7,600,000	8,200,000	△ 600,000
特殊購読会員受取年会費	1,215,000	1,275,000	△ 60,000
事業収益	[27,178,038]	[27,607,432]	[△ 429,394]
論文掲載・会誌別刷料収益	12,719,500	11,944,000	775,500
会誌印刷税	797,160	797,160	0
事典印刷税	974,820	2,688,840	△ 1,714,020
全国大会収入	5,972,600	5,480,300	492,300
全国大会(国際WS)収入	390,000	591,500	△ 201,500
研究会登録料他	2,348,872	2,590,000	△ 241,128
セミナー参加料	1,433,500	1,337,500	96,000
AIシンポジウム参加料	0	517,000	△ 517,000
会誌等頒布代	261,100	376,100	△ 115,000
JICST許諾料	186,060	233,940	△ 47,880
ISWC会議運営分担金	0	498,504	△ 498,504
出版物印刷税	419,036	552,588	△ 133,552
アカデミックロードマップ受注収益	1,000,000	0	1,000,000
前期損益修正	675,390	0	675,390
受取補助金等	[0]	[1,600,000]	[△ 1,600,000]
受取地方公共団体補助金	0	1,600,000	△ 1,600,000
雑収益	[840,972]	[921,686]	[△ 80,714]
会誌広告料	430,750	530,750	△ 100,000
会誌掲載料	201,000	212,000	△ 11,000
受取利息	7,950	1,533	6,417
コピーライト	159,696	131,403	28,293
論文集頒布代	9,000	32,000	△ 23,000
郵送料他	7,000	14,000	△ 7,000
その他	25,576	0	25,576
経常収益計	65,891,017	68,920,618	△ 3,029,601
(2) 経常費用			
事業費	[35,900,637]	[29,021,219]	[6,879,418]
会誌印刷費	12,346,950	11,894,400	452,550
会誌別刷印刷費	1,624,050	1,386,283	237,767
会誌執筆謝礼	320,000	475,000	△ 155,000
事典執筆謝礼	0	1,829,670	△ 1,829,670
会誌郵送費等発行諸経費	2,436,069	2,302,693	133,376
会誌論文誌支出	679,500	0	679,500
全国大会開催費	3,977,177	4,522,984	△ 545,807
全国大会国際WS開催費	510,065	1,873,608	△ 1,363,543
セミナー開催費	948,001	1,159,195	△ 211,194

科 目	当年度	前年度	増 減
研 究 会 開 催 費	2,476,942	2,530,369	△ 53,427
A I シ ン ポ ジ ウ ム 開 催 費	0	304,577	△ 304,577
広 報 活 動 費	635,680	48,000	587,680
表 彰 費	72,324	124,740	△ 52,416
ア カ デ ミ ッ ク ロ ー ド マ ッ プ 作 成 費 用	1,000,000	0	1,000,000
給 料 ・ 手 当	8,326,879	0	8,326,879
消 費 税	547,000	569,700	△ 22,700
管 理 費	[24,166,705]	[32,143,243]	[△ 7,976,538]
家 賃 費	2,209,725	2,121,336	88,389
共 益 費	368,928	368,928	0
光 熱 費	193,580	207,850	△ 14,270
リ ー ス 料 ・ 保 守 ・ 修 理 費	326,061	273,750	52,311
消 耗 什 器 備 品 費	49,638	33,680	15,958
会 議 費	446,639	457,170	△ 10,531
旅 費 交 通 費	128,270	54,390	73,880
通 信 費	1,765,556	1,749,553	16,003
印 刷 費	322,546	501,949	△ 179,403
消 耗 品 費	404,597	388,367	16,230
給 料 ・ 手 当	12,382,209	20,200,716	△ 7,818,507
臨 時 雇 用 費	1,238,077	1,593,915	△ 355,838
法 定 福 利 費	2,827,710	2,756,762	70,948
資 料 購 入 費	111,706	116,412	△ 4,706
研 修 費	7,200	5,200	2,000
諸 会 費	61,100	161,200	△ 100,100
○ A 維 持 費	218,130	239,228	△ 21,098
福 利 厚 生 費	113,640	6,720	106,920
会 費 引 落 経 費	298,671	303,239	△ 4,568
支 払 手 数 料	100,350	102,550	△ 2,200
雑 為 手 数 料	58,372	72,228	△ 13,856
外 為 手 数 料	9,000	8,000	1,000
公 認 会 計 士 費 用	525,000	420,000	105,000
会 費 未 納 除 却 損	[1,465,000]	[1,433,800]	[31,200]
特 定 預 金 支 出	[4,083,634]	[5,105,842]	[△ 1,022,208]
退 職 金 引 当 金 支 出	1,057,906	1,606,246	△ 548,340
会 費 未 納 分 除 却 引 当 金 支 出	917	413	504
事 務 所 整 備 積 立 金 支 出	3,000,757	51	3,000,706
記 念 事 業 積 立 金 支 出	5,694	3,000,300	△ 2,994,606
名 簿 発 行 積 立 金 支 出	0	7	△ 7
国 際 会 議 積 立 金 支 出	6,898	120	6,778
国 際 活 動 積 立 金 支 出	4,657	78	4,579
活 性 化 積 立 金 支 出	4,035	79	3,956
普 及 啓 蒙 活 動 積 立 金 支 出	1,467	30	1,437
I S W C 積 立 金 支 出	1,303	498,518	△ 497,215
経 常 費 用 計	65,615,976	67,704,104	△ 2,088,128
当 期 経 常 増 減 額	275,041	1,216,514	△ 941,473
2. 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
特 定 預 金 か ら の 繰 入 額	[806,788]	[0]	[806,788]
名 簿 発 行 積 立 金	806,788	0	806,788
経 常 外 収 益 計	806,788	0	806,788
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0

科 目	当年度	前年度	増 減
当期経常外増減額	806,788	0	806,788
当期一般正味財産増減額	1,081,829	1,216,514	△ 134,685
一般正味財産期首残高	63,677,570	62,461,056	1,216,514
一般正味財産期末残高	64,759,399	63,677,570	1,081,829
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	64,759,399	63,677,570	1,081,829

収支予算書

平成19年 4月 1日から平成20年 3月31日まで

一般会計

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[21,000]	[21,000]	[0]
基本財産利息収入	21,000	21,000	0
特定資産運用収入	[104,500]	[700]	[103,800]
特定資産利息収入	104,500	700	103,800
入会金収入	[350,000]	[350,000]	[0]
正会員入会金収入	240,000	240,000	0
学生会員入会金収入	110,000	110,000	0
会費収入	[36,920,000]	[37,590,000]	[△ 670,000]
正会員年会費収入	27,000,000	27,000,000	0
学生会員年会費収入	1,680,000	1,680,000	0
賛助会員年会費収入	7,040,000	7,680,000	△ 640,000
特殊購読会員年会費収入	1,200,000	1,230,000	△ 30,000
事業収入	[25,004,260]	[22,756,385]	[2,247,875]
論文掲載・会誌別刷料収入	11,720,000	9,713,000	2,007,000
会誌印刷税	797,160	797,160	0
事典印刷税	500,000	1,100,000	△ 600,000
全国大会収入	6,891,800	6,092,900	798,900
全国大会国際WS収入	760,000	385,000	375,000
研究会登録料他	2,521,500	2,388,000	133,500
セミナー参加費	1,207,500	1,465,000	△ 257,500
会誌等頒布代	400,000	400,000	0
JICS T 許諾料	6,300	200,000	△ 193,700
出版物印刷税	200,000	215,325	△ 15,325
補助金等収入	[3,000,000]	[0]	[3,000,000]
地方公共団体補助金収入	3,000,000	0	3,000,000
雑収入	[844,750]	[713,050]	[131,700]
会誌広告料	430,750	430,750	0
会誌掲載料	216,000	120,000	96,000
受取利息収入	60,000	300	59,700
論文集頒布代	11,000	30,000	△ 19,000
コピーライト	120,000	120,000	0
郵送料他	7,000	12,000	△ 5,000
事業活動収入計	66,244,510	61,431,135	4,813,375
2. 事業活動支出			
事業費支出	[38,920,174]	[26,666,121]	[12,254,053]
会誌印刷費支出	11,781,000	11,363,940	417,060
会誌別刷印刷費支出	1,278,900	708,800	570,100
会誌執筆謝礼支出	444,000	420,000	24,000
事典執筆謝礼支出	0	500,000	△ 500,000
会誌郵送費等発行諸経費支出	2,346,800	2,497,260	△ 150,460
会誌論文誌印刷費支出	603,000	618,500	△ 15,500
全国大会開催費支出	7,975,315	4,205,542	3,769,773
全国大会国際WS開催費支出	1,243,140	1,562,600	△ 319,460
給料・手当	8,424,187	0	8,424,187
セミナー開催費支出	899,999	1,044,479	△ 144,480
研究会開催費支出	2,653,833	2,525,000	128,833
広報活動費支出	620,000	570,000	50,000
表彰費支出	100,000	100,000	0
消費税支出	550,000	550,000	0
管理費支出	[24,424,878]	[32,838,181]	[△ 8,413,303]

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
家賃支出	2,145,336	2,201,336	△ 56,000
共益費支出	368,928	368,928	0
光熱費支出	200,000	200,000	0
リース・保守・修理支出	367,536	366,137	1,399
消耗什器備品費支出	50,000	50,000	0
会議費支出	516,000	516,000	0
旅費交通費支出	60,000	122,000	△ 62,000
通信費支出	1,701,792	1,579,504	122,288
印刷費支出	374,000	424,000	△ 50,000
消耗品費	398,000	458,000	△ 60,000
給料・手当支出	12,443,874	20,657,364	△ 8,213,490
臨時雇用費支出	1,475,000	1,475,000	0
法定福利費支出	2,800,000	2,800,000	0
資料購入費支出	135,412	135,412	0
研修費支出	100,000	100,000	0
諸会費支出	63,500	63,500	0
保険料支出	10,000	0	10,000
OA維持費支出	200,000	200,000	0
福利厚生費支出	15,000	115,000	△ 100,000
会費引落経費支出	310,000	310,000	0
支払手数料支出	110,000	110,000	0
雑費支出	76,000	86,000	△ 10,000
外為手数料支出	4,500	0	4,500
公認会計士費用支出	500,000	500,000	0
会費未納除却損	[1,450,000]	[1,450,000]	[0]
事業活動支出計	64,795,052	60,954,302	3,840,750
事業活動収支差額	1,449,458	476,833	972,625
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	[3,730,000]	[6,066,788]	[△ 2,336,788]
記念事業積立金取崩収入	300,000	3,300,000	△ 3,000,000
名簿発行積立金取崩収入	0	806,788	△ 806,788
国際会議積立金取崩収入	1,050,000	400,000	650,000
活性化積立金取崩収入	2,380,000	1,560,000	820,000
投資活動収入計	3,730,000	6,066,788	△ 2,336,788
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	[4,920,279]	[6,313,688]	[△ 1,393,409]
退職金引当金所得支出	1,101,779	1,053,688	48,091
会費未納除却引当金支出	5,700	0	5,700
事務所整備積立金支出	2,800	0	2,800
記念事業積立金支出	315,000	3,300,000	△ 2,985,000
国際活動積立金支出	19,000	0	19,000
国際会議積立金支出	1,074,000	400,000	674,000
活性化積立金支出	2,393,000	1,560,000	833,000
普及啓蒙活動積立金支出	4,800	0	4,800
ISWC積立金支出	4,200	0	4,200
投資活動支出計	4,920,279	6,313,688	△ 1,393,409
投資活動収支差額	△ 1,190,279	△ 246,900	△ 943,379
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	259,179	229,933	29,246
前期繰越収支差額	24,417,815	23,335,986	1,081,829
次期繰越収支差額	24,676,994	23,565,919	1,111,075

財産目録

平成19年 3月31日現在

一般会計

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	33,293,696	
現金手許有高	439,905	
普 通 預 金	21,137,381	
みずほ銀行会長口座	12,547,133	
みずほ銀行事務局長口座	6,872,525	
三菱東京UFJ利息受入口座	1,717,723	
総 合 貯 金	422,087	
振 替 貯 金	11,294,323	
会長口座	3,381,323	
全国大会口座	7,913,000	
未 収 会 費	2,124,000	
正会員入会金	16,000	
学生会員入会金	14,000	
正会員年会費	1,596,000	
学生会員年会費	288,000	
特殊購読会員年会費	210,000	
未 収 金	2,380,923	
論文掲載・会誌別刷料	1,776,000	
会誌印税	132,860	
会誌広告料	155,125	
研究会登録料	144,000	
コピーライト	13,750	
JICST許諾料	10,920	
研究会別刷料	63,000	
研究会当日資料収入	27,468	
会誌など頒布代	57,800	
前 払 金	69,000	
全国大会開催費	69,000	
流動資産合計		37,867,619
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定 期 預 金	35,000,000	
みずほ銀行飯田橋支店(一般)	35,000,000	
基本財産合計		35,000,000
(2) 特定資産		
退 職 給 付 引 当 金	8,139,311	
三菱東京UFJ銀行普通預金	8,139,311	
会 費 未 納 分 除 却 引 当 金	2,895,595	
三菱東京UFJ銀行普通預金	860,801	
三菱東京UFJ銀行定期預金	2,034,794	
事 務 所 整 備 積 立 金	4,408,448	
三菱東京UFJ銀行普通預金	4,204,979	
三菱東京UFJ銀行定期預金	203,469	
記 念 事 業 積 立 金	7,756,327	
三菱東京UFJ銀行普通預金	6,738,190	
三菱東京UFJ銀行定期預金	1,018,137	
国 際 会 議 積 立 金	12,242,456	
三井住友銀行普通預金	11,242,456	
三菱東京UFJ銀行定期預金	1,000,000	
国 際 活 動 積 立 金	9,815,481	

科 目	金 額	
みずほ銀行普通預金	9,815,481	
活 性 化 積 立 金	5,658,991	
三菱東京UFJ銀行普通預金	5,658,991	
普 及 啓 蒙 活 動 積 立 金	2,464,918	
三菱東京UFJ銀行普通預金	2,464,918	
I S W C 会 議 積 立 金	1,956,634	
三菱東京UFJ銀行普通預金	1,956,634	
特定資産合計	55,338,161	
(3) その他固定資産		
電 話 加 入 権	220,584	
郵便物受取人	777,000	
入 居 保 証 金	4,344,000	
その他固定資産合計	5,341,584	
固定資産合計		95,679,745
資産合計		133,547,364
II 負債の部		
1. 流動負債		
未 払 金	2,012,398	
会誌別刷印刷費	178,305	
会誌郵送費等発行諸経費	330,444	
全国大会（国際WS開催費）	200,000	
アカデミックロードマップ費用	605,146	
通信・郵送費	265,740	
印刷費	94,693	
消耗品費	29,400	
法定福利費	308,670	
前 受 金	880,000	
研究会登録料	780,000	
全国大会参加費（会員）	100,000	
前 受 会 費	9,241,000	
正会員入会金	26,000	
学生会員入会金	9,000	
正会員年会費	6,470,000	
学生会員年会費	251,000	
賛助会員年会費	2,080,000	
特殊購読年会費	405,000	
職員に対する社会保険料等	498,666	
社会保険料	392,796	
所得税	105,870	
誤入金・過入金等	270,740	
未払消費税等	547,000	
流動負債合計		13,449,804
2. 固定負債		
退職給付引当金	8,139,311	
会費未納分除却引当金	2,895,595	
事務所整備積立金	4,408,448	
記念事業積立金	7,756,327	
国際会議積立金	12,242,456	
国際活動積立金	9,811,566	
活性化積立金	5,658,991	
普及啓蒙活動積立金	2,468,833	
I S W C 会 議 積 立 金	1,956,634	

科 目	金 額	
固定負債合計	55,338,161	
負債合計		68,787,965
正味財産		64,759,399

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 引当金の計上基準について
退職給与引当金……期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

- (1) 今期から事務局職員の給与を就業の性格に応じて、管理費と事業費へ配分した

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定 期 預 金	35,000,000	0	0	35,000,000
小 計	35,000,000	0	0	35,000,000
特定資産				
退 職 給 付 引 当 金	7,081,405	1,057,906	0	8,139,311
会 費 未 納 分 除 却 引 当 金	2,894,678	917	0	2,895,595
事 務 所 整 備 積 立 金	1,407,691	3,000,757	0	4,408,448
記 念 事 業 積 立 金	11,057,235	5,694	3,306,602	7,756,327
名 簿 発 行 積 立 金	806,788	561	807,349	0
国 際 会 議 積 立 金	12,635,558	6,898	400,000	12,242,456
国 際 活 動 積 立 金	9,810,824	4,657	0	9,815,481
活 性 化 積 立 金	6,771,136	4,035	1,116,180	5,658,991
普 及 啓 蒙 活 動 積 立 金	2,463,451	1,467	0	2,464,918
I S W C 会 議 積 立 金	2,189,721	1,303	234,390	1,956,634
小 計	57,118,487	4,084,195	5,864,521	55,338,161
合 計	92,118,487	4,084,195	5,864,521	90,338,161

従来と同様に特定資産について負債にも積立金計上する方式を採用している。

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定 期 預 金	35,000,000	(0)	(35,000,000)	(0)
小 計	35,000,000	(0)	(35,000,000)	(0)
特定資産				
退 職 給 付 引 当 金	8,139,311	(0)	(0)	(8,139,311)
会 費 未 納 分 除 却 引 当 金	2,895,595	(0)	(0)	(2,895,595)
事 務 所 整 備 積 立 金	4,408,448	(0)	(0)	(4,408,448)
記 念 事 業 積 立 金	7,756,327	(0)	(0)	(7,756,327)
国 際 会 議 積 立 金	12,242,456	(0)	(0)	(12,242,456)
国 際 活 動 積 立 金	9,815,481	(0)	(0)	(9,815,481)
活 性 化 積 立 金	5,658,991	(0)	(0)	(5,658,991)
普 及 啓 蒙 活 動 積 立 金	2,464,918	(0)	(0)	(2,464,918)
I S W C 会 議 積 立 金	1,956,634	(0)	(0)	(1,956,634)
小 計	55,338,161	(0)	(0)	(55,338,161)
合 計	90,338,161	(0)	(35,000,000)	(55,338,161)

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収会費、未収金、前払金、仮払金、未払金、前受金、前受会費、預り金、仮受金、未払消費税を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	35,460,077	33,293,696
現金	738,676	334,035
小口現金	0	105,870
普通預金	16,119,522	21,137,381
総合貯金	422,065	422,087
振替貯金	18,179,814	11,294,323
未収会費	2,173,000	2,124,000
未収金	1,210,835	2,380,923
前払金	190,980	69,000
仮払金	45,360	0
合計	39,080,252	37,867,619
未払金	4,130,038	2,012,398
前受金	1,863,500	880,000
前受会費	8,679,000	9,241,000
預り金	232,288	498,666
仮受金	269,740	270,740
未払消費税	569,700	547,000
合計	15,744,266	13,449,804
次期繰越収支差額	23,335,986	24,417,815

3. 予算額と決算額との差異が著しい項目についての理由

予算額と決算額との差異が著しい項目についての理由は以下のとおりである

- (1) 特定試算運用収入
期中の大幅な利息の引き上げによる収入増
- (2) 論文掲載・会誌別刷収入
論文数・頁数増加による収入増
- (3) アカデミック・ロードマップ受注収入
当期に発生して、当期に決済した事業による収入増
- (4) 会誌掲載料
会誌掲載希望者の増加による収入増
- (5) 受取利息収入
期中の大幅な利息の引き上げによる収入増
- (6) 会誌別刷印刷費支出
会誌別刷収入増加に伴う費用増
- (7) 事典執筆謝礼
当期に発生がなかった事による支出減
- (8) 全国大会国際WS開催費支出
招待者旅費の支払いがなかった事と、LNAI出版買取部数の減による支出減
- (9) 給与・手当
従来の管理費から配分したための支出増

- (10) アカデミック・ロードマップ費用
(3) の収入に対する支出増
- (11) 給与・手当
事業費に配分したための支出減
- (12) 外為手数料
支払いが2件発生したための支出増
- (13) I SWC 積立金取崩収入
旅費の支払いが当期に発生した為の取崩収入増
- (14) 事務所整備積立金支出
次年度以降の会員管理システム変更に伴う積立金への支出増
- (15) I SWC 積立金取崩収入
(13) の取崩金を支払った事による支出増